

IT Automation BASE 【実習】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro

目次

- 1. 管理コンソール
 - 1. シナリオ
- 2. 実習①
 - 1. 新規ユーザの作成
 - 2. ロールの登録
 - 3. ロール・メニュー紐付
 - 4. ロール・ユーザ紐付
 - 5. 紐付確認
- 3. 基本コンソール
 - 1. シナリオ
 - 2. 事前準備
- 4. 実習②
 - 1. 作業対象ホストの登録
 - 2. オペレーションの登録
 - 3. IaCの登録
 - 4. Movementの登録
 - 5. Movement詳細の登録
 - 6. オペレーションに関連付くMovementとホストの登録
 - 7. 代入值管理
 - 8. Symphonyの登録
 - 9. Symphonyの実行
 - 10.Symphony完了確認

1. 管理コンソール



1.1 シナリオ 1/2

■本シナリオは、ユーザ「testuser」を新規作成し、 「testuser」が「機器一覧」のメニューを閲覧可能とする 内容となっております。

2.1 新規ユーザの作成

2.2 ロールの登録

2.3 ロール・メニューの紐付

2.4 ロール・ユーザの紐付

2.5 紐付確認

1.1 シナリオ 2/2

■ 今回のシナリオにおいて「2.1 新規ユーザの作成」「2.4 ロール・ユーザの紐付」 については、定常的に発生する作業と想定されます。

| 不定期作業 | 2.2 ロールの登録 |
|-------|------------------------|
| | 2.3 ロール・メニューの紐付 |
| 定常作業 | 2.1 新規ユーザの作成 ★繰り返し 実行★ |
| | 2.4 ロール・ユーザの紐付 |

2. 実習①



2.1 新規ユーザの作成

新規ユーザの作成

- ●「管理コンソール」>「ユーザ管理」> 「登録」>「登録開始」
- ●「ログインID」「ログインPW」「ユーザ名」「メールアドレス」を入力し、 「登録」を選択します。



2.2 ロールの登録

ロールの登録

- ●「管理コンソール」>「ロール管理」>「登録」>「登録開始」
- 「□ール名称」を入力し、「登録」を選択します。



2.3 ロール・メニューの紐付 1/2

ロール・メニューの紐付①

- ●「管理コンソール」>「ロール・メニュー紐付管理」>「登録」>「登録開始」
- ●「ロール(ID:名称)」「メニューグループ:メニュー」「紐付」を入力し、 「登録」を選択します。



POINT

[ロール(ID:名称)]「ロールテスト」を選択 [メニューグループ:メニュー]「機器一覧」を選択 [紐付]「閲覧のみ」を選択

2.3 ロール・メニューの紐付 2/2

| ロール・メニューの紐付②

●「紐付」については、「メンテナンス可」「閲覧のみ」の2種類があります※「メンテナンス可」に設定することにより、編集機能が利用可能になります。

2.4 ロール・ユーザの紐付

ロール・ユーザの紐付

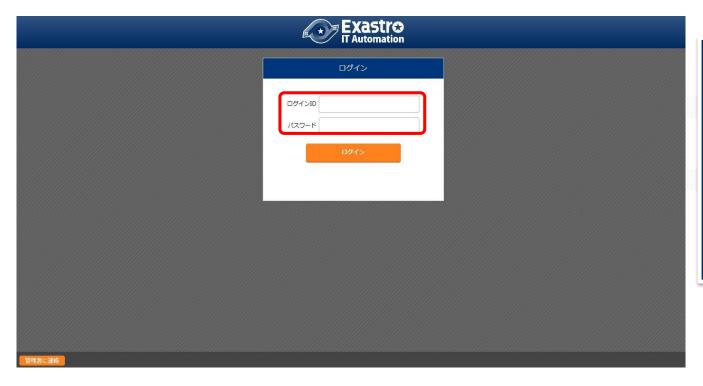
- ●「管理コンソール」>「ロール・ユーザ紐付管理」>「登録」>「登録開始」
- 「ロール(ID:名称)」「ユーザID:ログインID」を入力し、 「登録」を選択します。

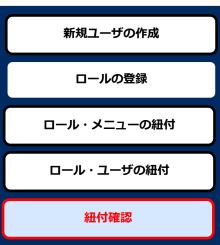


2.5 紐付確認 1/4

再ログイン実施

●ログアウトを行い、2.1で作成した「ユーザ名」と「ログインPW」で 再ログインします。



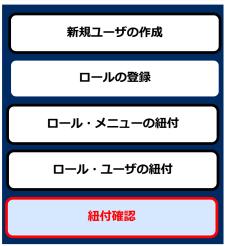


2.5 紐付確認 2/4

新パスワード設定

●初回ログイン時は、パスワード変更を要求されますので、 新パスワードを設定します。





2.5 紐付確認 3/4

メニュー画面の確認(権限が「<mark>閲覧のみ</mark>」の場合)

●紐付設定を「閲覧のみ」にしている為、編集機能は利用できません。



2.5 紐付確認 4/4

| メニュー画面の確認(権限が「メンテナンス可」の場合)

●紐付設定を「メンテナンス可」にした場合、各種編集機能の項目が表示され、編集が可能になります。



3.1 シナリオ

本シナリオは、対象ホストの tmp 配下に、 ディレクトリ「testdirectory」が作成される内容となります。 また、シナリオを進めるにあたり、Ansible driverが必要となりますので、 本シナリオでは、Ansible-Legacyを使用して、 基本コンソールをご説明をいたします。 (「4.3」~「4.7」が、 Ansible-Legacyのメニューを使用します)

- 4.1 作業対象ホストの登録
- 4.2 オペレーションの登録
- 4.3 IaCの登録
- 4.4 Movementの登録
- 4.5 Movement詳細の登録

- 4.6 オペレーションに関連付く Movementとホストの登録
- 4.7 Symphonyの登録
- 4.8 Symphonyの実行
- 4.9 Symphony完了確認

3.2 事前準備

IaCの作成

本シナリオでは、Ansible-Legacyを例にご説明しますので、 シナリオ実施の際に、IaCのサンプルとして Ansible プレイブックが必要となります。 以下に、サンプルプレイブックを記述しております。

※文字コードは"UTF-8"、改行コードは"LF"、拡張子は"yml"形式。また、インデントにご注意下さい。

- name: Make Work Directory demonstration

file:

path: /tmp/"{{ VAR_DIRECTORY }}"

state: directory mode: 0755

このIaCは /tmp配下に 新規のディレクトリを作成します 本シナリオでは ファイル名を「sample1」とします

4.1 作業対象ホストの登録

|作業対象ホストの登録

- ●「基本コンソール」>「機器一覧」>「登録」>「登録開始」
- ●「ホスト名」「IPアドレス」「ログインユーザID」「管理」 「ログインパスワード」「認証方式」を入力し、「登録」を選択します。
 - ※「IPアドレス・ログインユーザID・ログインパスワード」につきましては ユーザ様のご利用環境に適した設定をご入力下さい





4.2 オペレーションの登録

オペレーションの登録

- ●「基本コンソール」>「投入オペレーション一覧」>「登録」>「登録開始」
- 「オペレーション名」「実施予定日時」を入力し、「登録」を選択します。
 - ※ここで指定した日時に処理が実行されるわけではありません





POINT

[オペレーション名]「operation」と入力 [実施予定日時] 任意の日時を入力

4.3 IaCの登録

IaCの登録

- ●「Ansible-Legacy」>「プレイブック素材集」>「登録」>「登録開始」
- 「プレイブック素材名」を入力します。
- 「プレイブック素材」 <参照> を選択し、事前に作成した「sample1.yml」をアップロードします ⇒「登録」を選択します※ IaCの作成手順つきましては、「3.2事前準備」をご参照下さい



作業対象ホスト登録

オペレーション登録

IaC登録

Movementの登録

Movement詳細登録

オペレーションに関連付く
Movementとホストの登録

代入値管理

Symphony登録

Symphonyま行

Symphony完了確認

[**プレイブック素材名**]「sample1」と入力 [**プレイブック素材**] 事前に作成した 「sample1.yml」をアップロードします

4.4 Movementの登録

Movementの登録

- ●「Ansible-Legacy」>「Movement一覧」>「登録」>「登録開始」
- ●「Movement名」「ホスト指定形式」を入力し、「登録」を選択します。





POINT

[**Movement名**]「move1」と入力 [**ホスト指定形式**]「IP」を選択

4.5 Movement詳細の登録

Movement詳細の登録

- ●「Ansible-Legacy」>「Movement詳細」>「登録」>「登録開始」
- ●「Movement」「プレイブック素材」「インクルード順序」を入力し、 「登録」を選択します。





POINT

[**Movement**]「move1」を選択 [プレイブック素材]「sample1」を選択 [インクルード順序] 「1」と入力

4.6 オペレーションに関連付くMovementとホストの登録

オペレーションに関連付くMovementとホストの登録

- ●「Ansible-Legacy」>「作業対象ホスト」>「登録」>「登録開始」
- ●「オペレーション」「Movement」「ホスト」を入力し、「登録」を選択します。





POINT

[オペレーション]「operation」を選択 [Movement]「move1」を選択 [ホスト]「testserver」を選択

4.7 代入值管理

代入値管理

- ●「Ansible-Legacy」>「代入値管理」>「登録」>「登録開始」
- ●「オペレーション」「Movement」「ホスト」「変数名」「具体値」を入力し、 「登録」を選択します。



[オペレーション]「operation」を選択 [Movement]「move1」を選択 [ホスト]「testserver」を選択 [変数名]「VAR_DIRECTORY」を選択 [具体値]「testdirectory」と入力

4.8 Symphonyの登録

Symphonyの登録

- ■「基本コンソール」>「Symphonyクラス編集」
- ①「Symphonyクラス名称」を入力します。
- ② 画面右側に表示されている「move1」を、 画面中央にドラッグ&ドロップします
- ③ 「登録」を選択します



作業対象ホスト登録

オペレーション登録

IaC登録

Movementの登録

Movement詳細登録

オペレーションに関連付く
Movementとホストの登録

代入値管理

Symphony登録

Symphonyでは

Symphonyでは

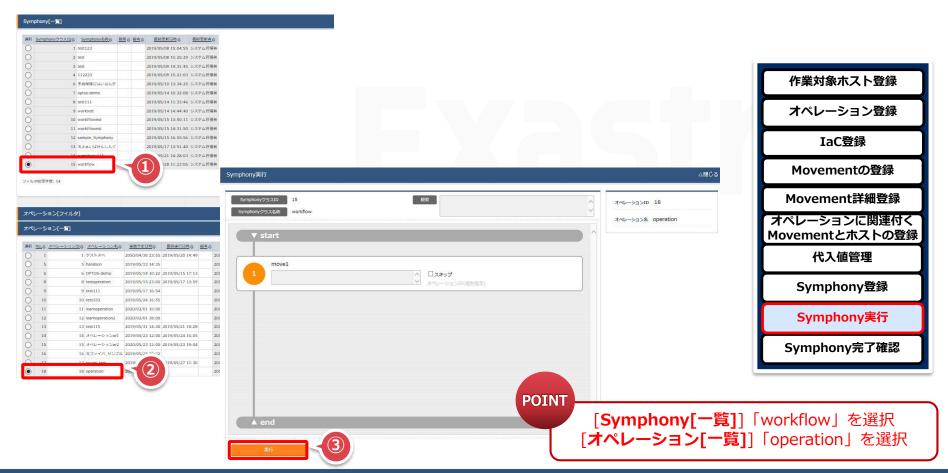
Symphony完了確認

[**Symphonyクラス名称**]「workflow」と入力

4.9 Symphonyの実行

Symphonyの実行

- ●「基本コンソール」>「Symphony作業実行」
- ●【Symphony[一覧] 】 「workflow」を選択します
- ●【オペレーション[一覧]】「operation」を選択します ⇒ 「実行」選択します



4.10 Symphony完了確認

Symphony完了確認

● 実行中または実行完了した、Movementを選択すると、 対象作業ステータスや、ログを確認できる画面に遷移します。

